

書物掛

小兵衛
外壹人

小網町名主

伊兵衛

右申立候ハ、今般御下被成下候來辰御寫本曆之儀、御改曆御前文有之、右ハ元文寶曆寛政度、何れも御前文共板刻仕候ニ付、此度も右例ニ隨ヒ、御前文入、開板仕候心得ニ有之、則古曆三通相添、來辰曆雛形奉入御覽置候段申出候、

但雛形綴曆ニ有之、猶折本は格好見計可書入旨、

右則差出候

一元文五申年綴曆壹冊 一寶曆六子年曆折本一冊 一寛政十年綴曆壹冊

并今般草稿且爲御見合、平年板行當卯曆折本綴曆、大形、小形とも壹通宛差上申候、

右之通御座候、先例有之上は、右申立之趣、御聞置被成下可然哉と奉存候、依之此段申上候以上、

卯九月

館市右衛門

ヒレ付書面、向方元締掛ハ申上候通ニ而可然哉ニ奉存候、

卯九月廿日

南市中取締掛

〔憲法類編二十一〕國法太陰曆ヲ太陽曆ニ改ラルノ事

壬申十一月九日、第三百三十七號御布告、

今般改曆ノ儀、別紙詔書ノ通被仰出候條、此旨相達候事、

詔書

朕惟フニ、我邦通行ノ曆タル、太陰ノ朔望ヲ以テ月ヲ立テ、太陽ノ躔度ニ合ス、故ニ二三年間必